

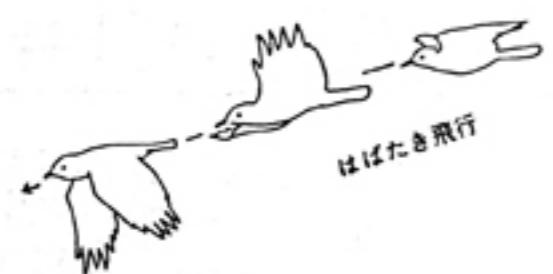
あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM '89 8月号



Q1. さがそう! 林の鳥

クイズをといて、鳥博士になろう！



● 夏休み特別展 "野鳥入門"

● 7月20日～8月30日



夏休み特別展 "野鳥入門" が始まりました。小鳥の声に迎えられて、毎日多勢のお友達がみえています。夏休みの自由研究はこれでいこうと決めたグループもあって、熱心にノートをとっています。この特別展は、見にきた方達にいろんな問題を出しています。全部で7問くらいあります。ウワッなんて驚かないでくださいね。スズメの体重は何グラム？とか、鳥の指は何本？とか、この足跡はだあれとか、小鳥は1人でねるのかな、おしつこするのかなとか、思わず笑ってしまうよう



カラスの足跡を読む

のこのこ歩き



1回両足ではねてから歩き出す

飛び立ち

ピンのふたに興味を示す

深い足跡を残して着地

な、とっても楽しいものばかりです。更によいことは、問題に挑戦しているうちに、野鳥についての知識が一杯になるから、あなたは鳥博士になっているかも知れない！

この地球には、私達人間だけでなく、鳥もけのもも魚たちも住んでいます。カブト虫や蝶やトンボも住んでいます。草も木も枝を伸ばし葉を茂らせ花を咲かせて、やはり一緒に住んでます。その下の地面をはう小さいアリンコだって、イソップ物語では立派な主役をつとめました。これらゼー

ンブを大きな目で考えると、地球という家に住む"地球家族"だと思います。お互いを知り、支えあい助けあって行きたいですね。例えば空を飛ぶ小鳥を知らなかつたら、私達は飛行機を考え出せなかつかも知れないし、船だってそのヒントは、お魚に学んだのかも知れません。"ソロモンの指輪"（ローレンツ著早川書房）を読むと、鳥たちの、私たちと同じような暮し方や、小さな胸のうちまで知ることが出来ます。1974年、カモメのジョナサンは、より速くより美しく飛びたいと

夏休みプラネタリウム はくちょう座物語



頗って、毎日練習に励みました。相模川のカモメの仲間にも、ジョナサンみたいのが居るかも知れないと思えば、"やあ元気かい"と手を振ってあげたくなりませんか。野の鳥を知るチャンスです。パネルが84枚、はく製が124箇に加えて、30箇の木彫りの鳥達も勢揃いしました。図入りでわかりやすくまとめた本も用意しました。

"鳥の歌・鳥の声"という講演会は、8月20日午後2時からです。聴きに来てください。

（和田）

○はくちょう座物語

はくちょう座は、夏を代表する星座のひとつです。天の川に翼をひろげた十字形の星のならびは、空高く、市内の空でも見つけられます。19世紀末の星座史研究家アレンは、このはくちょうは太陽神の子バエトンの親友キュクノス、あるいは軍神アレスの子で、トロヤ戦役で倒れたキュクノス、またはゼウスが、恋人レダに会う時変身した姿などと言っています。今回のプラネタリウムではこの中から、バエトンのお話を紹介しています。

古代エチオピアの王妃クリュメネには、たくさんの子どもがありました。そのひとりであるバエトンは、メロブス王の子ではありませんでした。母は「あなたのおとうさんは、太陽の神です」と言いますが、バエトンはある日そのことで、友人のエバボスと言い争いになります。自分の生まれに疑いをもつたバエトンは、真実を確認るために、太陽の神の宮殿へと旅立ちます。はたして太陽神はほんとうにバエトンの父なのでしょうか。そして、バエトンを気づかう親友のキュクノスは……。

この物語は、古代ローマの詩人オウィディウスの「変身物語」に、詳しく語られています。今回はこれに従って、太陽神をアポロンとしましたが、ギリシャではヘリオスをあてることが多いかったです。また、エバボスの母は、神々を統括する大神ゼウスの愛人であったイオ（木星の衛星名にもなっています）で、エバボスはゼウスの子であったとされています。ゼウスには多くの愛人があり、ペルセウスやヘルクレスなど、星座名に見られる英雄も、そうした子のひとりだったといわれます。

（沢村）

*** 行事案内 ***

8月

2・3	自然観察入門講座 "スター・ウォッチング"
8~10	サマーセミナー(七国荘)
10 木	「星を見る会」月と土星を見よう
12 土	石仏を調べる会/古文書講読会
16 水	「星を見る会」土星を見よう
17~19	体験学習"土器を作ろう"
18~22	自然観察入門講座 "バードウォッチング"
19 土	平塚の空襲と戦災を記録する会例会
20 日	特別展記念講演会
23 水	夏休み自由研究相談会
26 土	古文書講読会/石仏を調べる会
27 日	相模川を歩く会

・みんなで調べよう "セミのねががら調べ"

7月8日~9月16日毎土曜日

・特別展講演会 "鳥の歌・鳥の声"

8月20日(日) 午後2時~4時

・プラネタリウム:はくちょう座物語

7月22日~9月3日

9月

9 土	古文書講読会/土曜観察会/石仏を調べる会/ナチュラリスト講座
16 土	平塚の空襲と戦災を記録する会例会 みんなで調べよう高麗山のセミ(最終回)
17 日	相模川を歩く会
30 土	土曜観察会(自然の新聞作り)

●自由研究相談会

夏休みの自由研究について、まとめ方、標本の名前など、相談にお答えします。

日時: 8月23日(水) 10時~15時

場所: 博物館科学教室

参加自由

●星を見る会

「月と土星を見よう」

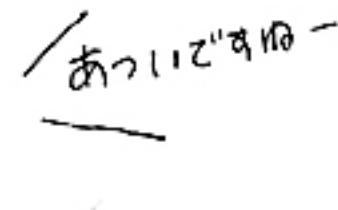
8月10日(木) 18時30分~20時

「土星を見よう」

8月16日(水) 18時30分~20時

場所: 博物館科学教室・屋上

参加自由(くもりの時は中止)



☆ 夏休みプラネタリウム

・投影日: 毎週、水・木・土・日曜日

・投影時刻: 11時・14時 (1回45分)

・観覧券: 1人100円(定員86名)

観覧券は当日発売しますが、水木土曜の午前の回は団体予約があった場合優先となりますのでご了承下さい。

・団体でのご観覧

水木土曜11時の回をご利用下さい。20名以上で割引となります。10日前までに博物館管理係までお申込み下さい。

